

本調査は、小規模事業者の皆様のご事業活動支援の一環として、市内5業種130社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。

2023年10月から12月の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】 2023年10月～12月

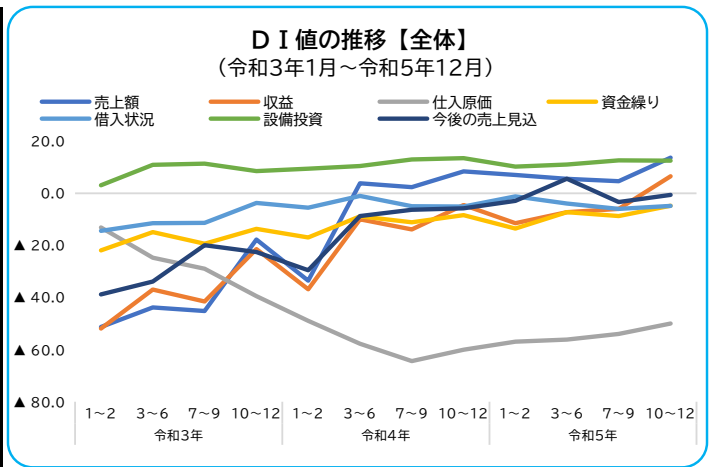
【調査方法】 建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種、合計130社を対象にアンケートを実施。
(回答企業数84社、回答率64.7%)

【DI値の算出方法】 ①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②)÷全体数×100-(④+⑤)÷全体数×100でDI値を算出する。

※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

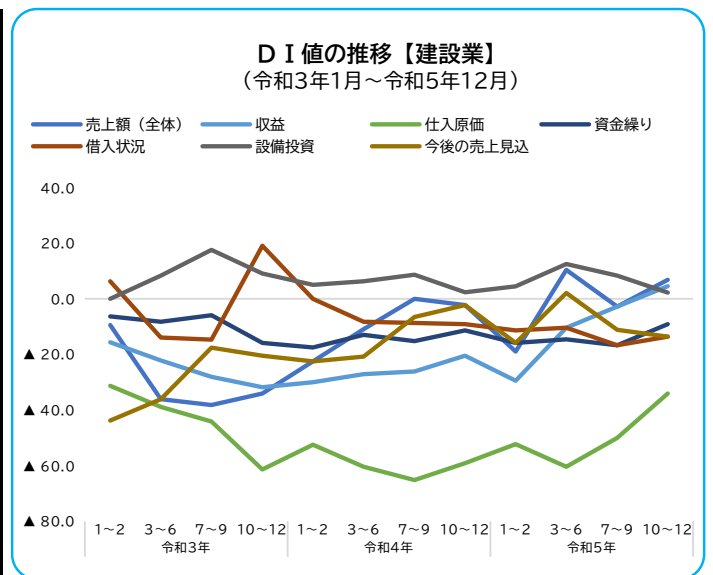
問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	12	25	22	24	1	減少	13.7
収益	増加	7	24	27	25	1	減少	6.5
仕入原価	低下	0	1	16	49	18	上昇	▲50.0
資金繰り	好転	0	11	56	15	2	悪化	▲4.8
借入状況	減少	0	7	65	7	4	増加	▲4.8
設備投資	増加	6	13	62	2	1	減少	12.5
今後の売上見込	増加	2	23	34	22	3	減少	▲0.6



2023年10月から12月におけるDI値は、仕入原価、資金繰り、借入状況、今後の売上見込の項目でマイナスとなっており、依然として厳しい状況がうかがえる。特に仕入原価については、80%の事業所が昨年同期と比較し、「やや上昇」「かなり上昇」と回答されている。しかしながら、昨年同期との比較では、設備投資以外の全ての項目で改善傾向となっている。現在直面している経営上の問題点については、「仕入原価の高騰」が60.7%と最も多く、次に「経費（燃料含む）の高騰」50.0%となっている。今後、求められる施策や支援策については「補助金・助成金」が48.8%と最も多く、次に「原材料・燃料価格の高騰対策」が41.7%となっている。

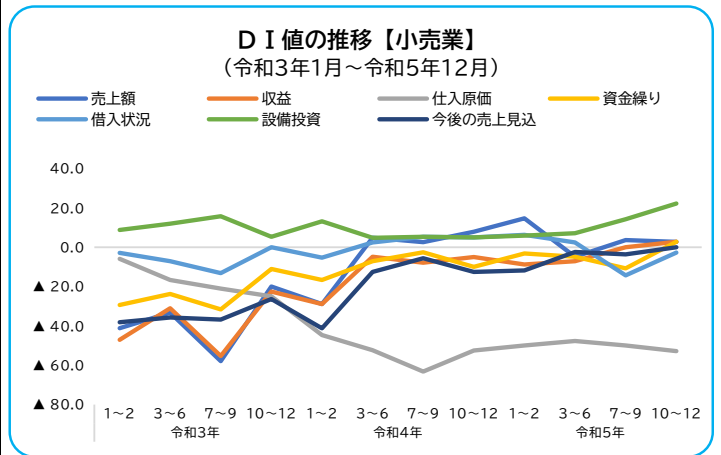
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	1	10	2	9	0	減少	6.8
公共工事(元請)	増加	0	5	3	6	2	減少	▲15.6
民間工事(元請)	増加	1	5	6	7	0	減少	0.0
下請工事	増加	0	5	4	6	1	減少	▲9.4
収益	増加	0	8	8	6	0	減少	4.5
仕入原価	低下	0	0	8	13	1	上昇	▲34.1
資金繰り	好転	0	2	14	6	0	悪化	▲9.1
借入状況	減少	0	0	18	2	2	増加	▲13.6
設備投資	増加	1	1	19	0	1	減少	2.3
今後の売上見込	増加	0	5	7	9	1	減少	▲13.6



*公共工事なし6件、民間工事なし3件、下請工事なし6件

建設業のDI値は、昨年同期と比較して公共工事（元請）は▲26.7ポイントから11.1ポイント、民間工事（元請）は▲11.4ポイントから11.4ポイント改善しているものの、下請工事は5.9ポイントから▲15.3ポイントと大幅に悪化している。しかしながら、収益は▲20.5ポイントから25.0ポイント、仕入原価も▲59.1ポイントから25.0ポイント改善している。今後の売上見込については、▲2.3ポイントから▲11.3ポイント悪化している。現在直面している経営上の問題点では、「経費（燃料含む）の高騰」が59.1%と一番多く、次いで「人手不足」が45.4%となっている。

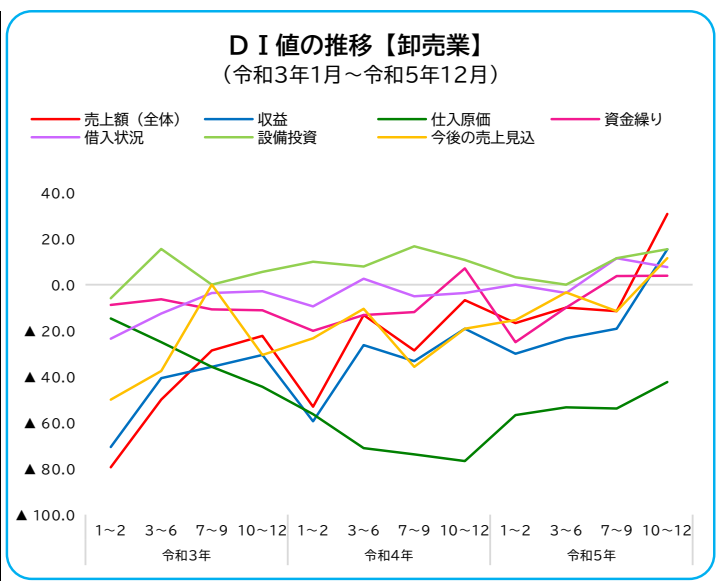
小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	0	5	9	4	0	減少	2.8
収益	増加	1	4	8	5	0	減少	2.8
仕入原価	低下	0	0	2	13	3	上昇	▲ 52.8
資金繰り	好転	0	3	13	2	0	悪化	2.8
借入状況	減少	0	1	15	2	0	増加	▲ 2.8
設備投資	増加	2	4	12	0	0	減少	22.2
今後の売上見込	増加	0	5	8	5	0	減少	0.0



小売業のDI値は、昨年同期と比較して資金繰りは▲10.0ポイントから12.8ポイント、設備投資は5.0ポイントから17.2ポイント、今後の売上見込は▲12.5ポイントから12.5ポイント改善となっているものの、借入状況が5.0ポイントから▲7.8ポイント悪化と厳しい状況がうかがえる。仕入原価については88.9%の事業所が昨年同期と比較し、「やや上昇」「かなり上昇」と回答されており、現在直面している経営上の問題点でも「仕入価格の高騰」が50.0%と一番多く回答されている。

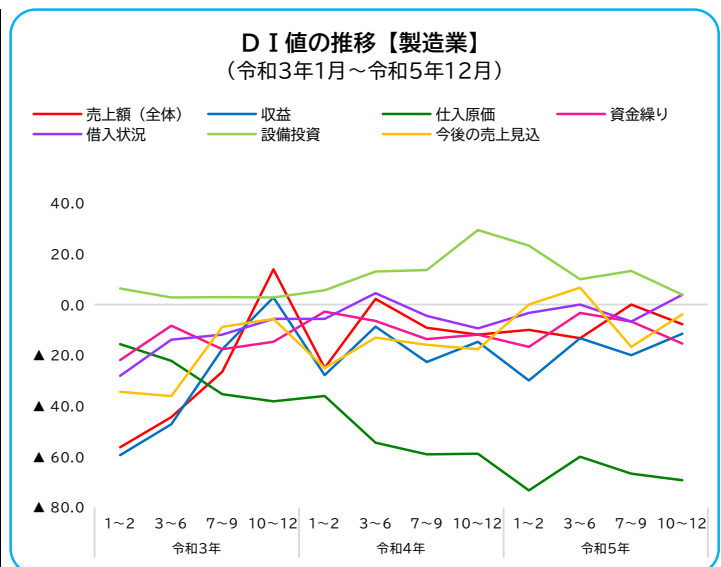
《最近の売れ筋傾向等》地酒、健康維持関連商品、カーテン類

卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	3	4	4	2	0	減少	30.8
市内売上	増加	2	3	5	3	0	減少	15.4
市外売上	増加	2	5	5	1	0	減少	30.8
収益	増加	2	3	5	3	0	減少	15.4
仕入原価	低下	0	0	5	5	3	上昇	▲ 42.3
資金繰り	好転	0	2	10	1	0	悪化	3.8
借入状況	減少	0	3	9	1	0	増加	7.7
設備投資	増加	1	2	10	0	0	減少	15.4
今後の売上見込	増加	1	4	6	1	1	減少	11.5



卸売業のDI値は、昨年同期と比較して資金繰り以外の項目で改善となり、売上額(全体)が▲6.7ポイントから37.5ポイント、収益は▲19.2ポイントから34.6ポイント、仕入原価は▲76.7ポイントから34.4ポイント、今後の売上見込は▲19.2ポイントから30.7ポイントの大幅な改善となっている。現在直面している経営上の問題点では「経費(燃料含む)の高騰」が61.5%と一番多く、次いで「仕入価格の高騰」が53.8%となっている。

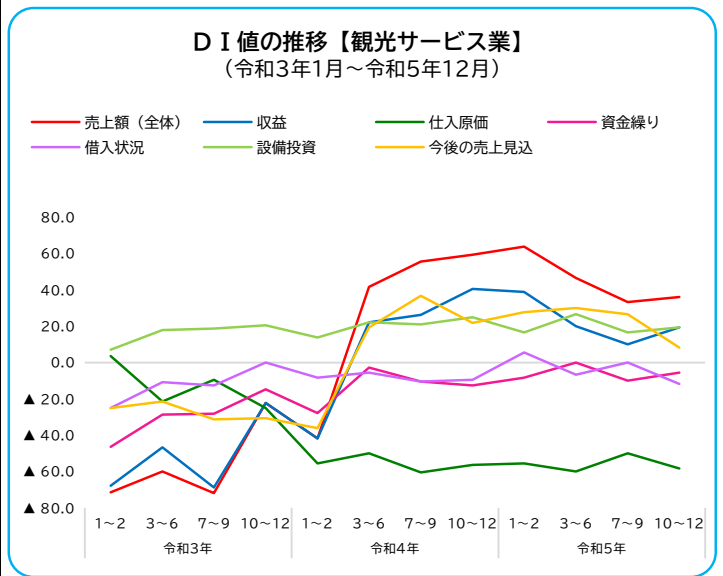
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	1	2	5	4	1	減少	▲ 7.7
市内売上	増加	1	3	6	2	0	減少	12.5
市外売上	増加	1	1	5	3	1	減少	▲ 9.1
海外売上	増加	0	0	4	0	0	減少	0.0
収益	増加	0	4	3	5	1	減少	▲ 11.5
仕入原価	低下	0	0	0	8	5	上昇	▲ 69.2
資金繰り	好転	0	0	10	2	1	悪化	▲ 15.4
借入状況	減少	0	1	12	0	0	増加	3.8
設備投資	増加	0	2	10	1	0	減少	3.8
今後の売上見込	増加	0	2	9	1	1	減少	▲ 3.8



*市内売上なし1件、市外売上なし2件、海外売上なし9件

製造業のDI値は、昨年同期と比較して市内売上が▲17.6ポイントから30.1ポイントの大幅な改善となっているものの、市外売上は0.0ポイントから▲9.1ポイント、海外売上は16.7ポイントから▲16.7ポイント悪化しており、収益は▲14.7ポイントから3.2ポイントのわずかな改善に留まっている。現在直面している経営上の問題点では、84.6%の企業が「仕入価格の高騰」と回答されており、次いで「経費(燃料含む)の高騰」が53.8%となっている。

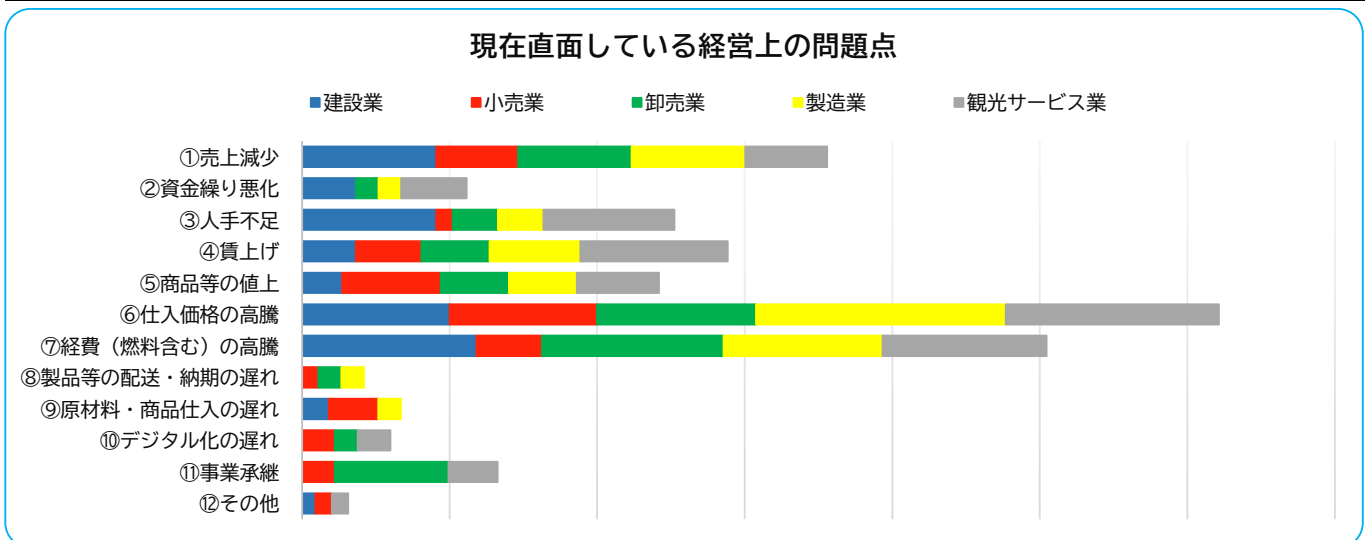
観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	7	4	2	5	0	減少	36.1
地元売上	増加	0	4	7	5	0	減少	▲ 3.1
日本人観光客売上	増加	1	8	5	4	0	減少	16.7
インバウンド売上	増加	6	4	5	2	0	減少	41.2
収益	増加	4	5	3	6	0	減少	19.4
仕入原価	低下	0	1	1	10	6	上昇	▲ 58.3
資金繰り	好転	0	4	9	4	1	悪化	▲ 5.6
借入状況	減少	0	2	11	2	2	増加	▲ 11.8
設備投資	増加	2	4	11	1	0	減少	19.4
今後の売上見込	増加	1	7	4	6	0	減少	8.3



観光サービス業のDI値は、昨年同期と比較してインバウンド売上は、33.3ポイントから7.9ポイント改善したものの、日本人観光客売上は、53.1ポイントから▲36.4ポイントと大幅に悪化し、売上額(全体)も59.4ポイントから▲23.3ポイント悪化している。また、収益も40.6ポイントから▲21.2ポイント、今後の売上見込も21.9ポイントから▲13.6ポイント悪化している。現在直面している経営上の問題点では、72.2%の企業が「仕入価格の高騰」と回答されており、次いで「経費(燃料含む)の高騰」が55.6%となっている。

問2 現在直面している経営上の問題点についてお答えください。(複数選択可)

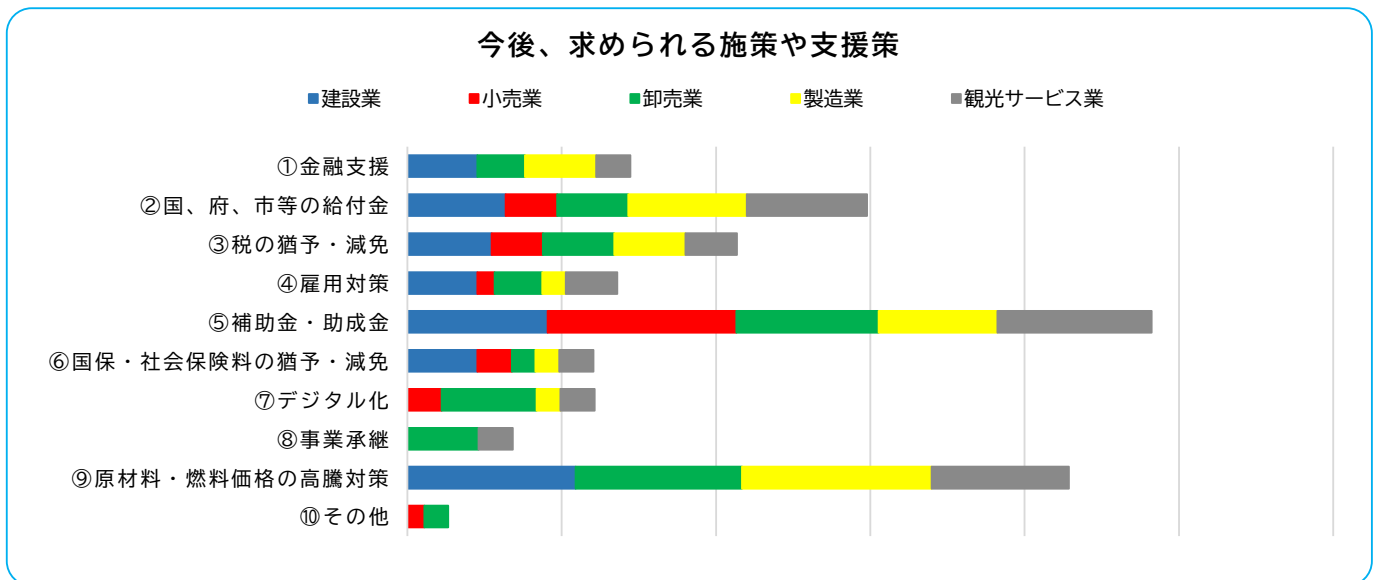
	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	
①売上減少	10	5	5	5	5	30	35.7%
②資金繰り悪化	4	0	1	1	4	10	11.9%
③人手不足	10	1	2	2	8	23	27.4%
④賃上げ	4	4	3	4	9	24	28.6%
⑤商品等の値上	3	6	3	3	5	20	23.8%
⑥仕入価格の高騰	11	9	7	11	13	51	60.7%
⑦経費(燃料含む)の高騰	13	4	8	7	10	42	50.0%
⑧製品等の配送・納期の遅れ	0	1	1	1	0	3	3.6%
⑨原材料・商品仕入の遅れ	2	3	0	1	0	6	7.1%
⑩デジタル化の遅れ	0	2	1	0	2	5	6.0%
⑪事業承継	0	2	5	0	3	10	11.9%
⑫その他	1	1	0	0	1	3	3.6%



《建設業》インフレ、金利上昇、景気後退

問3 今後、求められる施策や支援策について教えてください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	
①金融支援	5	0	2	3	2	12	14.3%
②国、府、市等の給付金	7	3	3	5	7	25	29.8%
③税の猶予・減免	6	3	3	3	3	18	21.4%
④雇用対策	5	1	2	1	3	12	14.3%
⑤補助金・助成金	10	11	6	5	9	41	48.8%
⑥国保・社会保険料の猶予・減免	5	2	1	1	2	11	13.1%
⑦デジタル化	0	2	4	1	2	9	10.7%
⑧事業承継	0	0	3	0	2	5	6.0%
⑨原材料・燃料価格の高騰対策	12	0	7	8	8	35	41.7%
⑩その他	0	1	1	0	0	2	2.4%



《卸売業》インボイス廃止

ご協力頂きました事業所の皆さま、お忙しい中ありがとうございました。